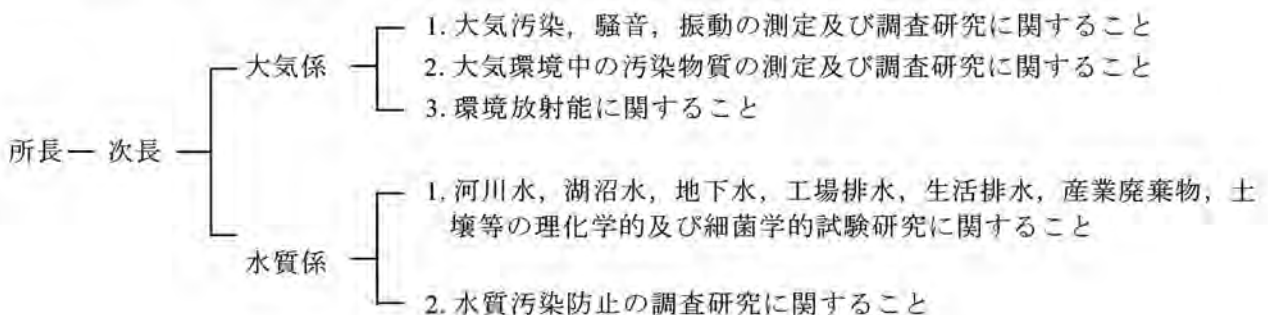


1. 沿革

昭和23年 6月25日	奈良県告示第167号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
昭和28年 3月31日	奈良県条例第11号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
昭和41年 3月30日	奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
昭和46年 3月24日	奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
昭和46年 5月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の3課を設置
昭和48年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
昭和50年 2月28日	前庁舎に接して約 1,276 m ² の庁舎を新築
昭和62年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の5課制に編成替え
平成 2年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
平成12年 4月 1日	県感染症情報センターを所内に設置
平成14年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ(大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当)に編成替え
平成18年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
平成22年 4月 1日	技術担当を置く
平成23年 4月 1日	技術担当を解く
平成25年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センターの試験研究部門として大気係、水質係に編成替え。奈良県保健環境研究センターは奈良県保健研究センターと名称変更し、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え。試験研究施設は桜井市粟殿に新築移転。

2. 組織(試験研究部門のみ)

(1) 機構と事務分掌(令和4年4月1日現在)



(2) 職員構成

(令和4年4月1日現在)

区分	事務職員	技術職員				計
		薬学	獣医学	理工農学	臨床検査学	
所長	1					1
次長				1		1
大気係				6		6
水質係			1	5		6
計	1		1	12		14

(3) 職員名簿

(令和4年4月1日現在)

係名	職名	氏名	係名	職名	氏名
	所長	小森俊二			
	次長	佐羽俊也			
大気係	統括主任研究員 総括研究員 主任研究員 主任研究員 主任主事 主任主事	杉本恭利 浦西克維 村上友規 高林愛 吉田実希 志村優介	水質係	統括主任研究員 主任研究員 主任研究員 主任研究員 主任研究員 主任主事	田原俊一郎 北岡洋平 辻本真弓 浦西洋輔 平井佐紀子 平山可奈子

3. 施 設（試験研究施設のみ）

(1) 土 地

（令和4年4月1日現在）

地 名	地 目	面 積	現在の状況	所 有 者
桜井市栗殿 1000 番地	宅 地	8,741.86m ²	宅 地	奈 良 県

(2) 建 物

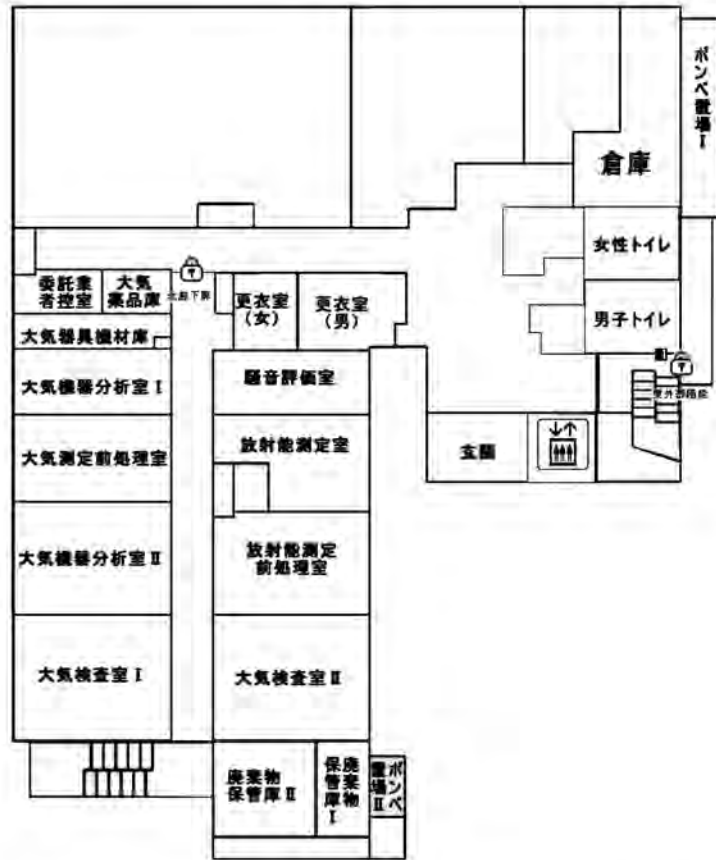
（令和4年4月1日現在）

施 設	面 積	使用開始年月日	建物経過年数	所 有 者
本館鉄筋コンクリート 4 階	3,264.17m ²	平成 25 年 4 月 1 日	9 年	奈 良 県
（ 本 館 1 階 ）	(860.13)			
（ 本 館 2 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 3 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 4 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 PI 階 ）	(43.73)			
倉 庫	7.00	平成 25 年 4 月 1 日	9 年	

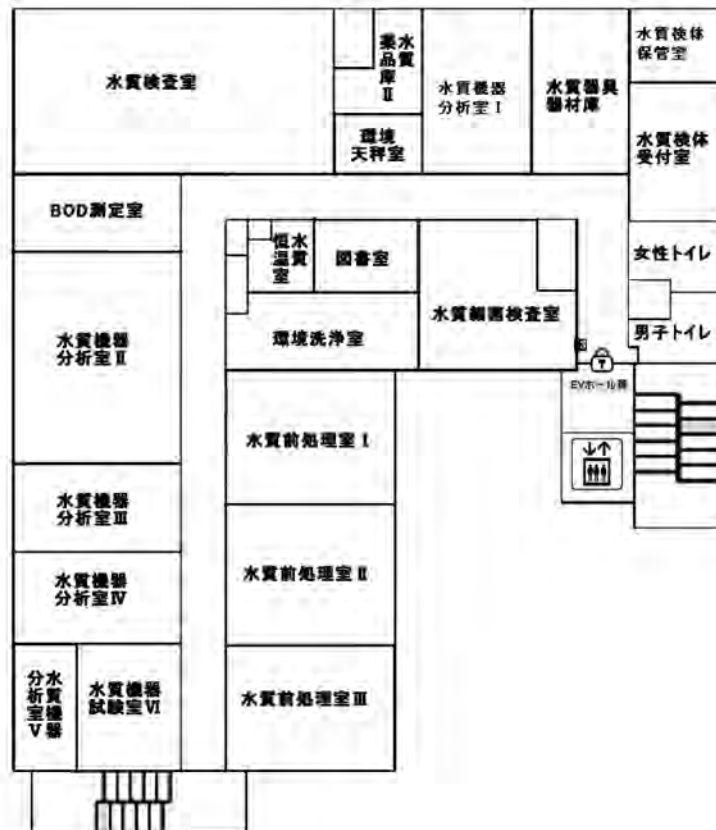
※大気係は 1 階西棟，水質係は 2 階全棟にて試験研究を実施。

(3) 奈良県景観・環境総合センター試験研究施設 配置図

(1階)



(2階)



4. 新規購入備品（単価 20 万円以上）

品 名	規 格	購入年月日
ガスクロマトグラフ質量分析装置	Thermo Fisher Scientific(株)製 Trace1310GC+TSQ9000トリプル四重極MS	R3.12.16
電動ビュレット	メトロームジャパン(株)製 Ecoドジマツト No.210070010	R3.11.19
携帯型アスベストアナライザー	Thermo Fisher Scientific(株)製 microPHAZIR-AS	R3.10.27
PM2.5サンプリング装置	ムラタ計測器サービス(株)製 MCAS-SJ-A1	R4.2.14
オートドライグローブボックス	アズワン製 AD800PC	R4.3.24
キャニスターサンプリングタイマー	エンテック社製 TM1200S	R4.3.18

5. 予算及び決算（令和3年度）

検査手数料（証紙収納額）

（単位 円）

種 別	内 訳	予 算 額	証紙収納額
景観・環境総合センター手数料	大気試験	143,000	0
	水質試験	3,023,000	2,971,510
合 計		3,166,000	2,971,510

歳 出

（単位 円）

款・項・目	予 算 額	支 出 額	残 額
(款) 医療政策費	236,400	149,682	86,718
(項) 保健予防費	236,400	149,682	86,718
(目) 保健研究センター費	236,400	149,682	86,718
(款) 水循環・森林・景観環境費	23,983,960	22,039,350	1,944,610
(項) 水資源政策費	6,236,000	5,723,641	512,359
(目) 水資源政策推進費	6,236,000	5,723,641	512,359
(項) 環境管理費	17,747,960	16,315,709	1,432,251
(目) 環境保全対策費	13,972,960	12,661,184	1,311,776
(目) 廃棄物対策費	3,775,000	3,654,525	120,475
合 計	24,220,360	22,189,032	2,031,328

* 景観・環境総合センター大気係および水質係執行分のみ計上（人件費を含まず）

6. 企画情報関連

(1)職員の出席した学会、研究会、講習会、研修会等

i) 大気係

年・月・日	内 容	開 催 地
R 3. 4.23	Waters Web インハウスセミナー	Web 開催
4.27	Ⅱ型共同研究「光化学オキシダント及びPM _{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」OxPM グループ会合	Web 開催
5.28	令和3年度大気環境学会関東支部講演会	Web 開催
6.10, 6.16	Ⅱ型共同研究「光化学オキシダント及びPM _{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」PM 高濃度気象解析グループ会合	Web 開催
7. 1	Ⅱ型共同研究「光化学オキシダント及びPM _{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」OxPM グループ東海近畿地域会合	Web 開催
7.20	一般財団法人 大気環境総合センター第3期定期セミナー第7回「凝集性粒子の測定法と大気環境影響」	Web 開催
7.27	令和3年度第1回近畿大気汚染常時監視連絡会	書面開催
7.30	令和3年度大気粉じん中六価クロム化合物測定方法調査検討会 第1回会合	Web 開催
8.17	令和2年度環境測定分析統一精度管理説明会	Web 開催
9. 6～9. 7	環境放射能分析研修「環境放射能分析及び測定」	Web 開催
9.13	環境放射能分析研修「ゲルマニウム半導体検出器による測定法」	Web 開催
9.15～9.17	第62回大気環境学会年会	Web 開催
9.14～9.15	第62回大気環境学会年会 臭気環境分科会・環境大気モニタリング分科会	Web 開催
9.24	防災スペシャリスト養成研修演習	Web 開催
10.26	一般財団法人 大気環境総合センター第3期定期セミナー「PM _{2.5} の指標化学物質～測定と動態」	Web 開催
11. 1	令和3年度大気粉じん中六価クロム化合物測定方法調査検討会 第2回会合	Web 開催
11. 9	一般財団法人 大気環境総合センター第3期定期セミナー「日本全国におけるPM _{2.5} 化学成分時間値の実態」	Web 開催
11.18～11.19	第48回環境保全・公害防止研究発表会	Web 開催
11.19	全国大気汚染防止連絡協議会第66回全国大会	Web 開催
11.30	一般財団法人 大気環境総合センター第3期定期セミナー「地域大気汚染の動態解析」	Web 開催
12. 2	第37回環境問題特別講演会	大阪市
12.17	Ⅱ型共同研究「光化学オキシダントおよびPM _{2.5} 汚染の地域的・気象的要因の解明」OxPM グループ会合	Web 開催
12.20, R4.1.12	令和3年度道路交通騒音・振動担当者説明会	Web 開催
R 4. 1.17～18	令和3年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	Web 開催
1.17～2.10	独立行政法人環境再生保全機構「令和3年度環境改善研修」	Web 開催
1.27	令和3年度第2回近畿大気汚染常時監視連絡会	書面開催
1.28	第36回全国環境研協議会 東海・近畿・北陸支部研究会	誌上開催

2. 3	地方公共団体環境試験研究機関等所長会議	Web 開催
2. 3	第 50 回全国環境研協議会総会	Web 開催
2.16～17	第 37 回全国環境研究所交流シンポジウム	Web 開催
2.24	令和 3 年度大気粉じん中六価クロム化合物測定方法調査検討会 第 3 回会合	Web 開催
2.25	大気汚染シミュレーション支援システム講習会	Web 開催
3.25	Ⅱ型共同研究「災害時等の緊急調査を想定した GC/MS による化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」最終ミーティング	Web 開催

ii) 水質係

年・月・日	内 容	開 催 地
R 3. 4.28	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」ガイドライン等勉強会	Web 開催
4.28	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」キックオフ会合	Web 開催
5.20	Ⅱ型共同研究「LC-MS/MS による分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」キックオフミーティング	Web 開催
6. 1～6. 3	第 29 回環境化学討論会	大阪市
6. 8	Ⅱ型共同研究「生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討」～令和 3 年度第 1 回ワークショップ～	Web 開催
8.30	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」第 2 回会合	Web 開催
9. 9	水質汚濁に係る環境基準の見直し等に関する説明会	Web 開催
9.14～9.15	第 24 回日本水環境学会シンポジウム	Web 開催
9.30	令和 3 年度環境測定分析統一精度管理調査 東海・近畿・北陸支部ブロック会議	Web 開催
10.21	令和 3 年度「化学物質環境実態調査 分析法開発等検討会議系統別部会（第一部会）（第 1 回）」	Web 開催
10.22	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」第 2 回サブテーマ 3 定例会合	Web 開催
10.28	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」共通化マニュアル動画作成に関する打ち合わせ	Web 開催
11.11	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」第 3 回会合	Web 開催
11.11	第 22 回クロマトセミナー	奈良市
11.16	Ⅱ型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」に係るマイクロプラスチック採取デモ	太宰府市
11.17	令和 3 年度漁場環境保全開発推進会議有害物質研究会	Web 開催
11.18～11.19	第 48 回環境保全・公害防止研究発表会	Web 開催
12.15～12.16	Ⅱ型共同研究「生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討」～令和 3 年度第 2 回ワークショップ～	つくば市
12.16～12.17	令和 3 年度「化学物質環境実態調査 分析法開発等検討会議系統別部	

R 4. 1.13	会（第一部会）（第2回）」 II型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」第4回サブテーマ1,2 定例会合	Web 開催 Web 開催
1.17～1.18	令和3年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	Web 開催
1.28	第36回全国環境研協議会 東海・近畿・北陸支部研究会	誌上開催
1.31	令和3年度奈良県環境審議会水質部会	Web 開催
2. 3	II型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」第3回サブテーマ3 定例会合	Web 開催
2. 5	II型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」マイクロプラスチックの材質同定手法に関するヒアリング及び装置(顕微 FT-IR)の見学	大津市
2. 8	令和3年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部有害化学物質部会	Web 開催
2.22	II型共同研究「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」測定デモンストレーション	Web 開催
2.24～2.25	令和3年度「化学物質環境実態調査 分析法開発等検討会議系統別部会（第一部会）（第3回）」	Web 開催
3.7	令和4年度スクリーニング分析法等環境調査説明会	Web 開催
3.16～3.18	第56回日本水環境学会年会	Web 開催

(2)当センター職員を講師とする講演会、技術・研修指導

年・月・日	内容	対象者	担当
R 3. 7.20	奈良工業高等専門学校「人間環境学」講師	奈良工業高等専門学校 5年生 58名	大気担当
R 3.10. 5～ 8	令和3年度奈良県立医科大学公衆衛生学実習	奈良県立医科大学 医学部4年生 5名	水質担当

(3)国立環境研究所・地方環境研究所との共同研究

地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所との第II型共同研究

「LC-MS/MSによる分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究」

水質係 浦西洋輔 辻本真弓

「河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」

水質係 浦西克維 平山可奈子

「生物応答を用いた各種水環境調査方法の比較検討」

水質係 平井佐紀子

「光化学オキシダント及びPM_{2.5}汚染の地域的・気象的要因の解明」

大気係 杉本恭利 北岡洋平 山本真緒 高林愛 志村優介

「災害時等の緊急調査を想定したGC/MSによる化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発」

大気係 杉本恭利 北岡洋平

(4)景観・環境総合センター研究発表会 ※詳細は本誌第3章第5節(2)参照

i) 令和3年6月25日

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

ii) 令和4年2月25日

「2020年8月上旬のPM_{2.5}高濃度事例解析」

大気係 志村優介

「環境中のメフェナム酸の分析法開発及び環境実態調査」

水質係 辻本真弓

(5)外部評価制度

i) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成19年度から保健環境研究センターとして外部評価制度を導入している。

平成25年度からは、保健環境研究センター大気環境担当・水環境担当が、景観・環境総合センター大気係・水質係へと組織変更され、保健環境研究センターは保健研究センターと名称変更されたが、外部評価制度は両者合同で行っている。

外部評価委員

(令和3年4月1日現在)

	氏名	所属
委員長	多賀 淳	近畿大学
委員	矢野 寿一	奈良県立医科大学
委員	須崎 康恵	奈良県立医科大学
委員	上田 佳代	京都大学(※)
委員	山田 誠	龍谷大学

※現 北海道大学

ii) 令和3年度評価対象となった調査研究(当センター分のみ抜粋)

担当	主任研究者	課題名	共同研究者
大気係	杉本 恭利	奈良県における大気粉じん中の形態別ヒ素測定法の確立	山本 真緒 北岡 洋平 高林 愛 志村 優介
水質係	辻本 真弓	環境中のメフェナム酸の分析法開発及び実態調査	平山 可奈子 浦西 洋輔 浦西 克維

iii) 外部委員による総合評価

令和3年度の調査研究について、全体を通じ次のように評価された。

- ・コロナ禍でも継続した分析をきちんとできている。
- ・ここが新しい、ここが他とは違うということをアピールしてほしい。
- ・種々のバックグラウンドを持つ方にわかりやすい説明を加えると、より理解が深まる。
- ・県内での生活必需関連に問題がないかという視点での実態調査に県民としてうれしく思う。
- ・継続実施してほしい。

iv) 外部委員による個別評価

外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民+社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、活用性、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

それぞれについて、5段階評価で行い各委員の平均で表した。

